

全日本保育大會

(時 言)

○友あり遠方から集る、また楽しからずや。これだけでも、全國保育大會の意義はある。その上に働き出るいろいろのこともこの親しみの集結を基礎とするといつてよいであろう。但し、その働きも亦、いずれも重要なことである。働き出でさうと、いうよりは働き出なければならぬものばかりである。

○全日本保育大會は今までも度々あった。殊に全国各地において開かれ、いつも大盛會であつて、全國の同友が、いつでも集り會することを楽しむものである實績を重ねている。ただし、それらの會合は、その時々のものであり、隔年に開くという打合せの繼時性はあつたが、恒常的な全國連合の實はまだ結成されていなかった。その企ては幾回か試みられたが、遂に成らなかった。期到らなかつたのか、企畫よろしきを得なかつたのか、筆者の如きも、その失敗の経験者であるが、みんなが常に遺憾とされることであつた。それが、去年全日本保育連合會の結成が緒につき、今年その組織の充實を見るのである。去年の東京大會は生みの會として、今年の奈良大會ははぐくみの會として、生みの力、はぐくみの整え、日本の保育のために、欣慶おく能わざるところである。

○この團結の上に何を働くべきか。同友相互の研さんも必要である。協同の援けあひも必要である。しかし今日、最も緊急

とすることは、日本の保育の力強く、そして正しい在り方を團結の總力を以て實現するにつとめることである。そのためには、多事にまぎれて、またしても此の重要事に緩慢なり勝ちな當局者當事者を促し、更に一層の努力を以て幼児保育に對する社會の關心と熱意とを進めることである。これこそ大總合力を以てしなければ充分に効果を擧げることが出来ない。全國の人も、その力強い働きの一つであるが、向後否御刻、あらゆる方策を講じて、速にその實果を實現せしめなければならない。ならないなどいうよりも、確に期待が懸けられているのである。

○そのために積極的に進まなければならぬことは多々あるが、同時に連合會の強力化のために深く注意しなければならぬことは、たとえ如何なることがあつても、決して内輪にひびの入らないこと、どの一角にも、連合への無關心態を生ぜしめないこと、及び保育公務者（私立施設も勿論公務者である）の團結としての純潔を保つて、決して他の利用（政治的にも、黨派的にも、營利的にも）に委ねないことである。この對内の注意と對外の警戒とは、出發最初からの緊い自戒と警戒とでなければならぬ。

○全日本保育連合の和かにして、濟らかにして、力強い發展を、心から祈つてやまないものである。（倉橋）